



No.57
 2022. 9.17
 発行；特定非営利活動法人
 所沢市学童クラブの会
 広報部
 所沢市くすのき台2-20-6
 Tel；04-2994-6753

これまでも これからも 大切にしていること

～すべての子どもたちにいきいきとした放課後を～

NPO法人所沢市学童クラブの会は、現在市内十九クラブの運営をおこなっています。

当会は、学童保育を必要とする保護者たちが自ら学童保育を立ち上げ、運営を担っていた時代からは始まり、たくさんの人に支えられながら、一九九九年にNPO法人所沢市学童クラブの会を設立し、今に至ります。

学童クラブの会が運営しているクラブでは、「子どもの最善の利益」を最優先に、子どもたち一人ひとりに寄り添い、子どもたちとの生活づくりを大切にし、子どもの成長を保護者と共有しながら、働きながらの子育てを支えています。

また、クラブに通う子どもたちや保護者だけではなく、クラブを通して地域の方々とながら、子どもが大切にされるまちづくりの実現をめざしています。



子どもたちが主体的に関われる生活の場をつくり、集団の中での子ども同士の関わりを大切にしています。

牛沼学童クラブ

一月下旬よりおやつが持ち帰りとなりましたが、みんなで集まる時間は残したいなと思いました。それで、「おやつのかんにやりたいこと表」を貼って募集したところ、色々なアイデアが出てきました。

ぜひみんなの前でやってよ！とお願いと、恥ずかしがりながらも練習を重ね、本番ではノリノリで踊っていました。みんなも大歓声で、まるでアイドルのコンサートのようでした♪。その後さらに、



「じゃんけん大会」「なぞなぞ(クイズ)」「ペンゴ」「ピアノ演奏」「あっちむいてほい大会」「おわらい」…。大切にしたいなと思ったのは、一人ひとりの「やりたい」という気持ちと、みんなで楽しい時間を過ごせる雰囲気づくりです。一年生のたどたどしいピアノ演奏も、みんな温かく見守ってくれました。一人の子が水族館に行ったのをきっかけに、数人で練習を始めたオリジナルの「イカタコ体操」というのが面白かったので、

メンバー募集やファンクラブ募集のポスターまで張り出されたり、今度は生伴奏をつける！とピアノ練習を始めたりと盛り上がっています。

椿峰学童クラブ

「本の読み聞かせ」

はじめは指導員が読んでいましたが、子どもたちから「読みたい！」という声上がり、読んでくれるようになりました。夏の昼食時、少しでも楽し



い時間になるように絵本の読み聞かせをしていたら「あたしが読んでみたい！」と四年生三人から声があがりました。じゃあ本を持つ係と読む係に分かれて…ここまで読んで…ここからは交代して…と彼女たちはサツと作戦会議をしてから、頑張って読んでくれました。読む力は日を重ねることに上達していった、今では早口言葉の本もスラスラと読めるんですよ。いつもありがとう♪



クラブを超えた職員集団としての交流や学びあいがあり、子ども・保護者とともに地域に根ざした取り組みを行っています。

西地区

くまで裏方として、行事を進めるのは各クラブから選出された子ども実行委員になります。子ども達で話し合い、行事をつくっていきます。三十一回目までは体育館をお借りし、地域の方々に子どもたちが工作を教えていました。また開催する時は、ぜひみなさん、遊びに来て下さい。



家庭とのつながりを大切にしながら、子育ての拠り所となし、保護者と子どもの育ちを共有しています。また、保護者どうしの交流の場もつくり



ながら、子育ての拠り所となし、保護者と子どもの育ちを共有しています。また、保護者どうしの交流の場もつくり

緑町三丁目学童保育所 (よつばクラブ)

緑町三丁目学童保育所（よつばクラブ）は、児童数十三人、世帯数十二世帯の小さなクラブです。二〇二〇年四月の開設以来ずっとコロナ禍のため、人が集まる活動ができませんでした。

が子のロッカーのごちゃごちゃも、楽しさが溢れ出ると思えばかわいいものです。

感染状況が少し落ち着いて七月上旬、初めてのよつばクラブ保護者交流会が開かれました。参加は、一く六年生の保護者五世帯。庭の畑や遊びこまれたダンボールなど、実物を見ると生き生きと遊ぶ子ども達が目に浮かびます。我

六年生の保護者から「一期生です」という自己紹介がありました。改めて、よつばクラブをゼロから立ち上げ作って下さった方々に感謝の気持ちと、よつばクラブが、これから子ども達、保護者、地域の方々、皆さんにとってよりよい学童クラブになるように、微力ながら保護者としてできることを頑張りたいと思いました。

あいさつ

学童クラブの会会長

大谷 節子

NPO 法人所沢市学童クラブの会の会員の皆様には、日頃の運営にご理解をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

私は、子育ての経験や、五十年間の福祉職の経験の中で、かつて携わった所沢の学童クラブの皆様と再び縁があり二

年前より会長職を仰せつかりました。

今期もまだ治まらないコロナ禍の中、昨年同様書面総会ではありましたが、引き続き会長を務めさせていただきこととなりました。

今まで多くの方々のご理解とご支援で歩んできた学童クラブの会の歴史や、私たちが描く理念、使命を会員のみならず、市民のみならず、もっとわかりやすくお伝えできるよう学童クラブの会に参りたいと考えております。

まずは、会員、職員、保護者のみなさまにクラブの会の活動をお伝えし、一緒に子どもたちの輝かしい未来を創るお手伝いをしていきたいと思

います。どうぞよろしく願います。



「ほつばこどもまつり」を纏っていきます。」と方針を確認しました。コロナ禍の為、集まって行事を行うことは厳しかもしれませんが、できる形でこの行事を続けていきたいと話しています。指導員はあ

新人指導員紹介

今年度新たに常勤指導員としてクラブに配属された方々の紹介です。

すなたしゅういち
砂田修一さん（ひだまりみなみ）

- ①工作、鬼ごっこ
- ②私も小学校1年生から6年生まで学童クラブを利用していました。今、指導員として働いていて当時の楽しかったことや嬉しかったことを思い出します。その経験も踏まえて、子どもたちの考えや思いに寄り添った活動をしていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。
- ③大きな二重のシャボン玉を作ることができます。温泉に行くのが好きです。



質問事項

- ①子どものころ好きだった遊び。
- ②意気込み
- ③特技、好きなこと

学童クラブの会のHPはこちらから！



うたがわみわ
歌川美和さん（第二上新井）

- ①なわとび、リコーダー
- ②子どもたちも保護者からも、何でも話してみようと思える指導員でいたいと思います。
- ③打楽器演奏(市内の一般吹奏楽団に在籍中)、料理・工作



むらたゆか
村田由香さん（若狭）

- ①読書、お絵描き、ぬり絵
- ②子どもたちとのふれ合いを通して、子どもたちの気持ちを理解できる指導員になれるようがんばります。どうぞ、よろしくお願ひします。
- ③読み聞かせ

まつばらひとみ
松原瞳さん（椿峰）

- ①家が近い友達と、探検と称してどこかの森や林に入って遊ぶことが好きでした。知らないところに仲良しのみんなで行くドキドキやわくわくが、今でも忘れられません。家が近い仲良しグループの兄弟姉妹など、みんなでアスレチックに行ったり、花火をしたことがすごく楽しかったです。
- ②これからたくさんの子どもたちや人との出会いがあると思うと、それだけで笑顔になれる。みんなで一緒にたくさん笑って過ごしましょう！よろしくお願ひします。
- ③両親が耳が不自由なので手話で会話ができます。あとは、なんといっても笑顔とやる気です



すすきだいき
鈴木大輝さん（宮前）

- ①サッカー、バスケ
- ②学童の仕事始めて四か月が経ち、いろんなことを学び、責任が大きい仕事だと感じました。それでも子ども達と関わるのは楽しく一緒に成長できる場所だとやりがいを感じています。子ども達の名まえも覚えて、仲良くなってきたと思っていますので、夏休み期間でもっと仲を深めていき、頼られる指導員になっていきます。
- ③音楽を聴くことがとても好きで特にKING G NUが好きです。ライブなどにも行きます。



篠原 美奈 指導員

並木学童クラブ

クラブでは「しのさん」と呼ばれています。子どもたちには、あっちこっちウロウロしていて忙しい人、声の大きい人、またよく間違えたりして「子どもだなく」と思われているのではないのでしょうか。

得意なことは、工作、虫取り。得意なおやつは塩おにぎり。得意な遊びはドッジボールやしにつき。

指導員になって良かったと思

うことは、子どもたちのコロコロと変わる表情、成長を目の当たりにしながら、子どもと一緒に頑張って自分も成長出来ること。また、子どもたちが新しい発見をしたときに一緒に喜んで喜ぶことが出来ることです。

同僚の指導員から、楽しむときは思い切り楽しむ、怒るときはしっかりと怒る、話を聞くときは親身になって聞いてくれる、子どもたちにとって信頼できる存在だと。子どもたち一人一人と真摯に向き合うところが良い所だと。

指導員として大切にしていることは、子どもの話を聴く。自分だけでは分からないこと、子どもから言われたことを受け止めて理解出来るようにしたいと思っています。そして、放課後のんびりと過ごしたり、子ども「の「やってみよう」と思っ

ちを大事にしています。

コロナ禍の中で色々な行事ができなくなったり、手作りおやつが出来なくなったりすることが残念です。行事は出来ない、やれないではなく「何が出来るか。どうしたら楽しめるか」を考えながら季節の行事などを楽しんでいきます。手作りおやつは出来ないけれど、手作りに近いものや、喜んでくれてお腹にたまりそうなものを考えています。喜んでる姿を見て「次はどんなものにしようか」と考えることも楽しいです。

そんな篠原指導員、実は、かなりのまんが通なんだとか。篠さんの夢は、まんがの壁面収納に囲まれること。クラブでも、夏休み限定の「しのさん文庫」が大人気です。篠さんのおすめまんがを期間限定で持ってきてくれていて、子どもたちも読

んで楽しんでいるのだとか。

子どもたちにはこの先チャレンジすることをあきらめない人になって欲しいです。失敗してもそれが次につながっていることを知ってほしいです。

まだまだ未熟者です。だからこそ子どもたちと一緒に頑張っていきます。これからも、よろしくお願いします。

篠原指導員でした。

次はこの人



編集後記

五月末の総会から早くも三ヶ月がすぎました。今年度はクラブの会の方針を会員の皆様だけでなく、多くの保護者の皆さんにも、具体的にわかりやすく伝えることを目標にしています。

発信の具体的なツールとして、「広報とろさわのがくどう」で、学童保育の理念に触れさせていただきました。子ども達のやりたいを大事にしていくこと、その実現に向かって保護者の皆様と指導員とで一緒に伴走すること。更に、学童保育実践を通して地域の皆さんとかかわり、地域貢献に寄与すること等々。

其々のクラブでは猛暑とコロナ第七波の中の夏休みを、安全に、そして子ども達のよき思い出となるように、様々な創意工夫をしていただろうなと思います。

私事ですが、四月から現役を退き補助指導員としてサポートに徹することになりました。「組織は人なり」という言葉を実感しています。今後も継続して多岐にわたる応援を心掛けたと思っています。

H.M